**８　茨城**

**平成２８年度 全高長・教育課程研究委員会資料**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **先進的あるいは特色ある教育課程** | **学校名等** | **課程** |
| **「主権者教育」** | **茨城県立波崎高等学校** | **全日制普通科・工業科** |

**ア　実施状況について**

**①　教育課程**

（教育課程編成）

　・本校で行われている「主権者教育」については，特に教育課程編成上で位置づけていない。

・平成２７年度第１学年「総合的な学習の時間」，平成２８年度第２学年「ＬＨＲ」で実施。

・「現代社会」，「政治経済」の授業で重点的に実施。

（授業展開）

　○【模擬選挙】各クラスの副担任５名が，本校の「校長」に立候補するという，「校長選挙」を実施した。

　○【内容】趣旨説明→マニフェストを公表→第１回世論調査→立会演説会，党首討論会→

第２回世論調査→クラス演説会（各クラスを回り演説）→第３回世論調査→

　　週刊誌発行（メディアリテラシー教育）→投票→結果分析（グループ学習）

**②　教員の指導力向上**

（教員研修）

　・ＩＣＴ活用やアクティブ・ラーニングの研修会等に積極的に参加するなど，教員の意識が醸成され，新たな授業研究の意識が高まっている。

　・地歴・公民科の教員を中心に，授業との関連，実施方法，題材，掲示物など指導体制を検討した。

（外部人材の活用）

　・神栖市選挙管理員会が「有権者になるにあたって」というテーマで出前授業を実施。

**③　校内組織**

　・主権者教育実行委員（教務主任，学年主任，地歴公民科，特活係）…実施要項，マニュアル作成

　・選挙管理委員（特活部生徒会係，各クラスの選挙管理委員）…資料，投票用紙の作成。

**④　施設設備**

　・多目的教室（２００名）→立会演説会や討論会で使用

　・教室（４０名５クラス）→クラス別演説会や投票所として使用

**⑤　取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法**

　・県教育委員会主催「政治的教養を育む教育に係る研修会」で取組を発表した。

　・神栖市青年会議所主催の講演会にて「高校生の主権者教育」というテーマで発表し，地域と共に実施上の課題について検討している。

　・新聞各社で取り上げられたことから，市の選挙管理委員会から積極的な協力を得た。

**⑥　その他**

　・市の選挙管理委員会と，「高校生の投票率を上げるには」というテーマで協議した。高校生の場合は，部活動や模擬試験等で投票率が低くなることが予想される。そのため，学校内での「期日前投票所の設置」などを要望したが，認められなかった。

**イ　今後の課題**

　・今の高校生は，スマホが情報ツールであり，テレビや新聞などを見る生徒が少ない。よって，候補者や政党の情報集めをどのようにするかが課題となる。

　・「現代社会」，「政治経済」の指導計画作成の際に，政治的教養の育成を重視するためには，具体的な事象を取り上げなければならない。その授業について，教師側の指導が，保護者や地域に誤解される可能性もある。

・学校で「主権者教育」を行う場合，学校格差や教員格差がでてくることが予想される。

・高校生の選挙活動に関する教育の徹底として，「禁止事項（高校生の選挙運動）」への対応について，各学校に任されていいものなのか。

**茨城県立波崎高等学校ホームページ　　http://www.hasaki-h.ibk.ed.jp/**